

すべての子ども・若者に
学ぶ喜びと生きる希望を
—子ども・若者の現実と願いに立脚して

第25回
全国教育研究
交流集会
i n 埼玉

2017年1月7日(土)・8日(日)

埼玉大学教育学部 (さいたま市・JR北浦和駅西口バス15分)

7日

受付12:30~

全体会(13:00~17:30)

第1部

会場：教育学部C1教室

「子どもの貧困とどう向き合うか～埼玉からの発信」

- ・NNNドキュメント「奇跡のきょうしつ
～子どもの貧困をなくす」上映

- ・当事者、スタッフの若者の話

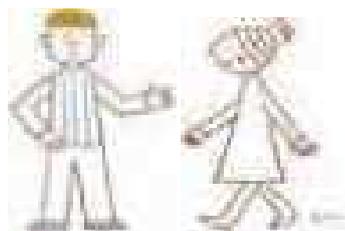
第2部 シンポジウム

「いま、学び、表現することの意味をあらためて考える」

「9条俳句」訴訟や学校現場からの報告を予定



交流の夕べ(18:00~20:00)



受付9:30~

8日

分科会(9:30~16:00)

会場：教育学部A棟

ごあいさつ

グローバル競争を勝ち抜くために、政治行政の総がかりで人材育成が進められています。

そのような施策は、子どもや教育に関わる人たちに上からの押し付けの形となって現れ、教育のいたるところで「べき」論で押し通される危険性をはらんでいます。子どもの現実

と願いに立った教育に私たちは確信をもって歩みたいものです。

集会では、各地の取り組みを交流し、何より子どもたちの姿に学びながら教育の希望を語り合おうではありませんか。

現地実行委員長 馬場久志

主催 民主教育研究所

03-3261-1931

さいたま教育文化研究所

048-831-4266

分 科 会 の 概 要

第1分科会 子ども・若者の生活と学びの保障
 第2分科会 学習指導要領改訂と教育課程づくり
 第3分科会 統廃合と小中一貫で学校と地域はどうなる
 第4分科会 「特別の教科 道徳」と教科書問題
 第5分科会 ジェンダー・セクシュアリティと教育

第6分科会 障害のある子どもの発達と保育・教育
 第7分科会 教職員の働き方
 第8分科会 子ども・若者の進路と就労問題
 第9分科会 「憲法・民主主義・平和」を実現する
 特別分科会 [午後のみ]
 若い教師のつどい「アクティブ・ラーニングってどうなの？」

分科会	世話人	趣旨と討論の柱	レポート
第1分科会	子ども・若者の生活と学びの保障 馬場久志 (民研・埼玉大学) 白鳥勲 (さいたま教育文化研究所)	子ども・若者が生活し学ぶことの基盤が脅かされている今日の社会において、その生活と学びをどう支え、子どもたちとともに未来をみざしていくかが焦眉の課題となっています。本分科会では、子どもと若者のそれぞれの生活において抱える困難の中で、子どもたちに寄り添い、ともに歩んでいる活動の報告を聞き、討論します。子ども・若者を支えるさまざまな場の試みを共有し、何より子どもたちの姿に学びながら、展望を見いだしたいと思います。	①問題提起 (馬場久志) ②生徒とともに笑い、泣き、励まし合った工業高校での貴重なあの瞬間 (とき)(川口芳彦/埼玉県立浦和工業高等学校) ③貧困と学力 (土屋匠宇三/彩の国子ども・若者支援ネットワーク) ④みんなで育ち合う地域を目指して (大久保はるみ/NPO法人 花の森こども園)
2分科会	学習指導要領改訂と教育課程づくり 梅原利夫 (民研代表・和光大学) 八木英二 (民研・京都橘大学) 大沢進一 (埼玉サークル協議会)	2020年度実施へむけ、中央教育審議会が学習指導要領改訂の答申をまとめ、2017年3月までに学習指導要領の改訂を行おうとしています。そこでは、教育目標として「育成すべき資質・能力」が掲げられ、指導方法として「アクティブ・ラーニングの視点」が示され、「社会に開かれた教育課程」へのカリキュラム・マネジメントが言われています。私たちは、この改訂の総論を批判的に分析したうえで、各教科等の各論を検討します。そして、なによりも子どもの学習を保障し人格の形成をめざす、実践現場からの教育課程づくりの道を出し合い交流します。	①問題提起 (梅原利夫) 中教審・学習指導要領改訂「答申」を乗り越える私たちの教育課程づくり ②一人読み、話し合いを通して想像力、思考力を身につけた子どもたちー「赤神と黒神」の実践報告 (小6) (渡辺真由美/元新座市立片山小) ③体育におけるグループ学習とアクティブ・ラーニング (大貫耕一/民研教育課程研究委員会) ④子どもの実態から出発する学校の教育課題づくり (島田勉/さいたま教育文化研究所)
第3分科会	統廃合と小中一貫で学校と地域はどうなる 山本由美 (民研・和光大学) 朝岡幸彦 (民研・東京農工大学) 安藤聡彦 (民研・埼玉大学)	学力テスト体制が公教育の競争的な再編をうながし、首長権限が強化された教育委員会のもと、学校統廃合が各地で多発、また計画されています。2014年の総務省の公共施設等総合管理計画が自治体に公共施設の統合・廃止の計画化を促し、昨年の58年ぶりの統廃合「手引き」改正、今年度の義務教育学校(小中一貫校)の法制化などが相まって、このような統廃合増加につながり、地域の教育や子どもたちの暮らしが様変わりするだけでなく、地域自体が大きなダメージを受けることになります。学校統廃合問題を切り口にして、地域と学校の今日的な課題について考えてみましょう。	①問題提起 (山本由美) 統廃合、学制改革、学力テストなどの全体像 ②埼玉県鴻巣市の統廃合、小中一貫教育にどう対抗していくのか (鴻巣市) ③小さくても輝く自治体、長野県阿智村では (岡庭一夫/阿智村前村長) ④地域と学校の歴史を保存するー東通村歴史民俗資料館の取り組み (古里貴士/東海大学)

第4分科会	「特別の教科 道徳」と教科書問題	<p>金馬国晴 (民研・横浜国立大学)</p> <p>中村雅子 (民研・桜美林大学)</p> <p>川崎宏 (さいたま教育文化研究所)</p>	<p>「特別の教科」道徳という船が、多くの人々を乗せて動き出しています。どこに向かうかわかっている人はごく一部で、多くはどこに連れて行かれるか不安であり、不具合やトラブルも心配です……。民研では道徳パンフの第二弾・実践篇を作成中です。それにも向けて今回は、新任教師、実習生、道徳教育推進教師による報告をききます。加えて、来年に迫った各地での採択を見通し、対策を考え合うために、市民の各団体から報告をいただいて、経験交流をします。道徳とともに歴史・公民や、教科書採択の制度自体についても考え合しましょう。</p>	<p>①問題提起 (金馬国晴) 道徳実践・教科書問題の対抗軸と今後を探る</p> <p>②生徒と新採指導教諭とのはざまで (新任の中学教員/埼玉)</p> <p>③実習で道徳授業をやってみて (実習経験を経た学生)</p> <p>④道徳実践の対抗軸を現場から (道徳教育推進教師)</p> <p>⑤教科書問題に取り組む市民と団体から</p>
第5分科会	ジェンダー・セクシュアリティと教育	<p>池谷壽夫 (民研・了徳寺大学)</p> <p>山口和孝 (さいたま教育文化研究所)</p> <p>田代美江子 (埼玉大学)</p>	<p>分科会のテーマは「子どもの多様性を認めあう、喜び溢れる学校と文化を！」です。この分科会では、①文科省 LGBT ガイドブック、新学習指導要領の問題、および今日の学校とその文化を、子どもの(性)の多様性 (diversity) の尊重という視点から批判的に検討します。そのうえで、②「子どもの多様性を認めあう、喜び溢れる学校と文化」を創り出すためには、どのような課題があるのかについて、実践や学校づくり、国際的な視点から明らかにしたいと思います。</p>	<p>①問題提起 (渡辺大輔/埼玉大学) 「性の多様性」教育・学習の意義と課題」</p> <p>②人の性はグラデーション—「多様な性」の授業実践より— (樋上典子/東京公立中学校教員)</p> <p>③性的マイノリティのこどもも安心して通える学校を (佐藤貴/大阪)</p> <p>④イギリス・オランダの性教育から日本の課題を考える」 (池谷壽夫、橋本紀子/女子栄養大学)</p>
第6分科会	障害のある子どもの発達と保育・教育	<p>中村尚子 (立正大学)</p> <p>並木たい子 (さいたま教育文化研究所)</p> <p>細瀬富夫 (埼玉大学)</p>	<p>特別支援教育に移行して10年。特別支援学校・学級で学ぶ子ども、通常学級で支援を受ける子ども、ともに大幅に増加しましたが、必要な教育条件整備はたいへん後れています。こうした数字上の増加は、通常教育のあり方も深く関わっています。また「障害特性に合った指導」などたしかに研修の機会は増えているのですが、障害の視点だけでは子どもの理解が深まるものではありません。この分科会では、小・中学校や特別支援学校はもちろんのこと、乳幼児期の保育・療育、高等学校での教育をも視野に入れて、また親のねがいや生活上の課題を含み込んで、障害のある子ども、「気になる子ども」の教育実践について討論します。</p>	<p>①問題提起 (中村尚子)</p> <p>②保育園から学校への“つなぎ”と学校での支援のあり方 (佐藤滋美/深谷市・私立保育園)</p> <p>③通級指導教室の実践 (廣門明子/川口市小学校)</p>
第7分科会	教職員の働き方	<p>糴谷陽子 (民研・都教組)</p> <p>山内芳衛 (さいたま教育文化研究所)</p> <p>勝野正章 (民研・東京大学)</p>	<p>いま、教育内容や指導方法、評価のしかたを強制したり、「教育の政治的中立性」等と言って教職員を統制しようとする動きが強まっています。これは、本来、子どもの成長のためにみんなで話し合い、助け合いながら工夫して教育活動をすすめる教職員のしごとを、上からの指示通りに粛々とすすめるだけのロボットのようなものへと根本的に変えてしまうものではないでしょうか。各地では、こうした状態を何とか変えようと、さまざまなりくみが進められています。教職員政策の分析・批判と実態の交流・分析を深めるとともに、どうやって「教師」「教職員」本来のしごとをとりもどしていくのか、希望と展望のもてる分科会にしていきたいと思います。</p>	<p>①問題提起 (糴谷陽子)</p> <p>②今日の教職員政策の動向と問題 (勝野正章)</p> <p>③「ロウアン」で学校を変える—健康で人間らしい生き方を実現するために—埼玉の取り組み (杉本正男/さいたま教育文化研究所)</p> <p>④教職員と教育費を増やすには (山崎洋介/奈良民研・ゆとりある教育を求め全国の教育条件を調べる会)</p>

第8分科会	子ども・若者の進路と就労問題	児美川孝一郎 (民研・法政大学) 岩月桃子 (全労連・埼玉ユニオン) 荒井文昭 (民研・首都大学東京)	高卒・大卒就職ともに、「空前の売り手市場」が成立しているかのようなマスコミ報道があります。しかし、現在でも、進学や就職といった進路選択、さらには就労後の生活と労働に苦勞し、困難を抱える若者が多数存在しています。そんな彼らが、自らの進路をきり拓き、その後のキャリア形成の主体へと育っていくために、教育には何ができるのでしょうか。学校における「俗流キャリア教育」ではなく、学校内外でのまっとうな教育・支援の取りくみと、就労後の若者支援の現場から考えてみます。	①問題提起：児美川孝一郎 ②高校における取り組み（交渉中） ③若者たちが地域から動き出す「カフェと太鼓と Moonlight Project」（平野和弘／一般社団法人 Moonlight Project） ④ユニオンにおける取り組み（岩月桃子／全労連・埼玉ユニオン）
第9分科会	「憲法・民主主義・平和」を実現する	佐貫浩 (民研・法政大学) 関原正裕 (さいたま教育文化研究所) 中嶋哲彦 (民研・名古屋大学) 上原弘道 (さいたま教育文化研究所)	憲法改正が現実の国会日程に上り、自衛隊の戦場派遣が強行される可能性もあります。同時に、戦争法反対運動以来の民主主義の新たな可能性も生まれています。この中で、日本の民主主義をもう一段高める道を探り、その中での学校教育の責務は何かを考えます。討論の柱は、第一に、「政治的中立性」を理由に憲法的自由を抑圧する動きに対し、民主主義と表現の自由、声を上げる民主主義を強める課題の検討、第二に、子どもや若者の世界の「平和」イメージを捉え直し、九条学習などの平和教育が子どもに働きかける方法を検討、第三に、現実「憲法改正論争事態」が国会で展開したときの学校教育の責務、どんな授業を展開すべきなのかの検討です。	①問題提起（佐貫浩） 憲法改正動向と教育の役割・可能性 ②中立性、表現の自由一声を上げる民主主義（「9条俳句」市民応援団） ③「中立性」再考（中嶋哲彦） ④平和教育を考える（未定） ⑤「憲法改正論争」と教育の責務（丹羽徹／京都龍谷大学）
特別分科会（午後のみ）若い教師のつどい	「アクティブ・ラーニングってどうなの？」	木村 浩則 (民研・文京学院大学) 中村 潤 (埼玉、小学校)	本分科会は、若い教師たちの悩みや課題に焦点をあて、若者の成長を励まし支える職場づくりやネットワークづくりについて語り合ってきました。今年度のテーマは、「アクティブ・ラーニングとどう向き合うか」です。いま学校現場に「アクティブ・ラーニング」という妖怪が徘徊しています。それは子どもの主体性を強調する点で耳触りの良いものです。しかし実際には教師の実践力の向上というよりも、特定の授業の「型」の押し付けとして機能し、とりわけ経験の浅い教師ほどそれに呑み込まれてしまう危険性があります。そこで、若い教師は「アクティブ・ラーニング」とどう向き合っていけばよいのか、互いの悩みと実践を交流する場にしていきたいと思えます。	①問題提起（木村浩則） ②埼玉小学校初任教師 ③埼玉高校校初任教師

埼玉大学へのアクセス（自動車での来場はご遠慮ください）

「北浦和駅」西口バス停

JR 京浜東北線「北浦和駅」西口より「埼玉大学行き」

JR 埼京線「南与野駅」西口 全行先に乗車可

終点「埼玉大学」下車 約15分 [200円]

「埼玉大学」下車 約10分 [180円]

1/7 (土) 11:00 11:12 11:24 11:36 11:48

11:00 11:20 11:58

12:00 12:12 12:24 12:36 12:48

12:00 12:40

1/8 (日) 7:45 8:00 8:12 8:24 8:36 8:48

7:57 8:18 8:58

9:00 9:12 9:24 9:36 9:48

*日曜朝は道路が混雑するため、時間に余裕をもっておいでください。

参加申し込みは民研ホームページからできます [http://www.min-ken.org]